

公益的機能維持増進協定による森林整備の推進について

関東森林管理局 天竜森林管理署
森林技術指導官 役田 学
静岡県 天竜農林局
森林整備課長 佐野 信幸

1 課題を取り上げた背景

国有林の一般会計化に伴って創設された、公益的機能維持増進協定制度を用いて、国有林内で孤立していることに加え、民有林間での集約化が進まないことにより整備が困難となっている人工林を対象として間伐による民国一体となった森林整備を進めるため、静岡県浜松市三ヶ日町に所在する日比沢自治会との間で全国初の「公益的機能維持増進協定」を締結しました。



図-1 位置図

民有林の森林整備を国有林が行うという前例の無い取組みを実施し、その実現に向けて苦労した点や課題等を整理記録として残し、今後の民有林整備の指針とするために、とりまとめましたので報告します。

2 具体的な取組

(1) 天竜森林管理署の取組み

孤立する団地や隣接地の特定作業に当たっては、施業実施計画図を基本に全域の調査は時間がかかるため、ピンポイントで該当箇所を特定し、森林組合ではなく民有林補助事業に精通している静岡県西部農林事務所天竜農林局(以下天竜農林局)と緊密な連携と協力関係を構築し、協定の実現に向けて取り組みました。

(2) 天竜農林局の取組み

日比沢地区を含む民有地において間伐を計画していたところ、国有林

から一体的な間伐の打診があり、自治会に対し民有林補助事業を活用した森林施業について提案しました。

3 取組の結果

(1) 天竜農林局との連携による森林所有者の特定

自治会の森林所有者は、144名で不在村森林所有者も多く、森林所有者の特定には、困難を極めました。天竜農林局の所有している民有林GISデータの活用を通じて迅速な作業が可能となりました。

(2) 森林整備(間伐)の取組みについて

作業道の使用については、三ヶ日みかんの収穫、搬出作業に配慮した事業期間の設定やみかん畑への濁水防止措置等地域住民への丁寧な説明に心がけました。

(3) 地区住民にアンケート調査を実施

地区住民を対象に森林に対する意識調査を実施した結果、土砂災害等に対する森林整備の期待が伺え。今後は、集落により近い民有林と隣接する国有林とで一体的な森林整備を加速化することが重要な課題であると示唆されました。

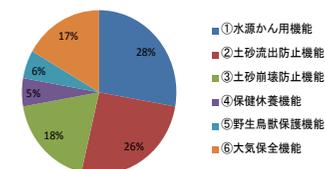


図-2 森林に対する期待

4 まとめ

全国初となった、「日比沢地区公益的機能維持増進協定」の締結によりこれまで、三ヶ日みかんのブランドづくりに傾注してきた地域住民が、本協定を契機に森林に目を向けてくれたことが大きな収穫となりました。

この協定を契機に、天竜農林局、浜松市との意見交換の場を継続し実施していること、今年度森林情報システムの共有化が図れたことにより、新たな候補地の選定作業が進んでいます。

今後も効率的な森林整備に取り組むとともに、現地検討会等の開催による技術交流を通じ、更なる民国連携の取組みに努めこととしています。